

令和3年度
事業報告書

大洲市立大洲学園
第1部・第2部

目次

【内容】		頁数
・ 令和3年度事業報告	総合施設長 池田 隆三	…… 1～2
・ 施設入所支援	次長兼務主任指導員 宮脇 忠	…… 3
・ 障がい者支援施設（1部、2部）		…… 4～7
1 利用者状況		
2 利用実績		
3 行事		
・ 生活介護	次長兼務主任指導員 宮脇 忠	…… 8～9
・ 食事サービス	管理栄養士 山田実貴子	…… 10～11
・ 保健医療サービス	看護師 後藤望美	…… 12
・ 各種委員会		……
(1) サービス向上委員会		…… 13
(2) 地域交流委員会		…… 13
(3) 安全衛生委員会		…… 14
(4) 研修委員会		…… 15
(5) 広報委員会		…… 15
(6) その他委員会		…… 16～17
・ 苦情への取り組み		…… 18
・ 利用者会議の開催		…… 18
・ 職員会		…… 18
・ 実習生・ボランティア受け入れ		…… 19
・ クラブ活動の状況		…… 19
・ 定期的な行事開催		…… 19
・ 福祉サービス第三者評価の受審		…… 19

令和3年度事業報告

総合施設長 池田 隆三

1. 事業環境

令和3年度は指定管理1年目を迎え、施設サービスでは、第1部の施設入所・生活介護とも定員40名（現38名）、第2部施設入所・生活介護とも定員30名（現27名）でスタートした。年度内の利用者異動は、第1部、2部ともに入院治療中に亡くなった方が1名、施設移動で退所者が1名となり年度末の入所者は両事業所とも2名減となる。

給食サービスについては、今年度から業者へ委託し提供を行った。当初2件のインシデントの報告はあったものの早急な再発防止策が講じられた。豊富なメニューに加え食事形態、栄養管理、行事食への協力等専門性に長けており利用者から好評を得ている。

また、コロナ禍にあつて日常生活にも自粛を強いられ多くの行事が中止となる中、食育を中心とした様々なイベントや市内飲食店応援企画を兼ねたデリバリー食を実施し利用者の満足度向上やストレス解消に繋がった。

2. サービス充実と感染症対策

利用者の身体拘束ゼロの支援は国が示す指針であり法人も目指しているところであるが、大洲学園では身体拘束が日常化しているが、その記録がなく更には見直しも長年行われていない状況であった。派遣市職員の支援係長(サビ管)へは県が示す方向へ修正を依頼するが着手しない。個別支援計画においても未提出のためそれに伴う記録がない状態。また、毎月の個別ケース記録も未提出等から、適正化への修正は困難と判断し、11月に派遣市職員の支援係長とサービス管理責任者の職を法人職員へ交代した。

令和4年度より事業所における虐待防止及び身体拘束の適正化への取組が義務化されるため、講師を招いて研修会を実施し、虐待防止及び身体拘束の見直しに取り組んだ。

指定管理管轄の大洲市社会福祉課とは、定期的に連絡会を開催し、これら不備な現状はその都度報告している。

今年度、計画していた福祉サービス第三者評価を12月に初めて受審した。事前に職員間で自己評価を行うことで現状を把握し、第三者委員による評価結果を基に改善に取り組んでいる。

利用者の通院等送迎における職員の安全運転や法令遵守の意識向上のため、職員全員の協力を得て運転記録証明書を取得し、安全運転、交通ルールの遵守に努めた。その取組みが認められ、7月に愛媛県警本部並びに自動車安全運転センターより最高位のプラチナ賞を受賞した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策については、行政からの通知に従い対応を継続した。当施設の行事はもとより愛媛県、大洲市、県福祉協会、南予福祉施設会をはじめとする様々な行事が中止となった。

2月、大洲学園においてコロナ陽性者が確認され、それ以降施設内で蔓延してしまった。保健所、大洲市の指導を受け、市内社会福祉法人災害時相互応援協定及び四国内4法人連携協定に基づき職員派遣の協力を受けながら法人一丸となって対応した。重症化する利用者もなく24日間で終息することができた。コロナワクチン接種については、

市と連携をしながら嘱託医協力のもと3月に3回目を実施した。

3. 健康経営

利用者が笑顔で生活できる施設づくりのためには、まずは支援者である職員が心身共に健康であることが重要である。職員が健康で働き続けることができる事業所を目指し、健康づくりに取り組む「健康づくり推進宣言」を継続した。その取り組みが認められ「健康経営優良法人2021」ブライツ500の認定を受けることができた。

職員の健康こそが経営の基盤であり、ワークライフバランスの取り組みとして、有給休暇の積極的な取得や、育児・介護休暇取得を啓発して働きやすい職場環境づくりに努めた。令和3年度においては、1名が育休を取得している。

4. 人材確保

職 種	総合施設長	次長兼主任指導員	サービス管理 責任者	生活支援員	相談支援員	看護師・保健師	管理栄養士	調理員	書記	合計
令和3年 4/1 現在	1	1	2	26 市3	0	1 市1	2 市1	0	0	33 (市職5含)
減員 (退職)				4						4
増員 (採用)				1						1
令和4年 3/31 現在	1	1	2	23 市3	0	1 市1	2 市1	0	0	30 (市職5含)

令和2年度まで大洲学園に配属の市職員から専門職5名を1年の期限で派遣を受けた。法人からは職員6名を異動した。

今年度上半期までの法人正職員登用試験は、介護福祉士の資格を取得した職員から実施していたが、下期においては新卒者採用条件に併せ、みなしで実施し合格者2名を次年度より正規職員とした。

5. 施設整備改修等

昭和60年に建設された園舎は38年が経過し、設備の老朽化が目立つ。また利用者の快適な生活環境整備のため、厨房へ製氷機と湯沸かし器を設置、消防設備受信機移設、洗濯機更新、職員個人ロッカー及び会議室のプロジェクターを据付、他にはコロナ感染症終息後の園舎全館の消毒を実施した。

6. 事業継続 (市立大洲学園指定管理)

令和3年4月、市立大洲学園指定管理の初年度を迎え、まずは利用者の生活環境や運営状況を把握し、支援業務の修正に取り組んだ。今後、管轄である大洲市社会福祉課の指導と連携を継続しながら、法人の基本理念に基づき施設運営を推し進めたい。

施設入所支援

次長兼主任指導員 宮脇 忠

【実施状況】

施設入所者につき、主として夜間に係る排泄及び食事等の介護、生活等に関する相談及び助言その他必要な日常生活上の支援を行った。個々に必要な生活習慣を確立させて、限られた設備内でより快適な生活が営むことができ、生活介護の日中活動と合わせての日常生活を一体的に支援した。

また、法人理念「地域と共に歩む」を基礎として、コロナ禍において地域や家族の連携に大きな支障はありましたが、大洲市、市内他法人間連携に努めて、福祉サービス提供に努めた。

施設入所者の解決すべき課題に合わせ、年度当初前にサービス管理責任者が個別支援計画を策定されていたものの、機能してない状況が継続した。事態が膠着していることもあり、サービス管理責任者を交代して、利用者・保護者・看護師・生活支援員でのモニタリングを行うよう努めた。利用者及び保護者等の意向を伺い、同意のもと支援を行った。また、身体機能の低い利用者や入院歴のある利用者などは、個別支援計画の見直しを行った。

【総括】

指定管理1年目であり、当初の事業計画を実施するには、現状（支援員数や設備的な不備等々）との格差があった。日課を変更するなどして工夫を行い、利用者支援に係るサービス低下がないように配慮に努めた。平均年齢が若年である利用者であっても新型コロナウイルス感染症予防のために3密を避けての活動が主であるため、地域行事への不参加に加え、施設内外や育成会（※保護者の会）行事等々の殆どが中止となった。

年度中途においてサービス管理責任者の交替・ケース会議の実践など大きな改革ができたものの、その効果を年度末までに上げることはできなかったように考える。加えて、下半期の内2月から3月は、新型コロナウイルス感染症の罹患者が施設内に蔓延する結果となった。地域住民をはじめ保護者、大洲育成園をはじめとする大洲市内社会福祉法人連携事業者や四国内4法人災害連携協定など関係各位などに多大なご心配やご迷惑をおかけした結果となりました。併せて関係各位の皆様のお陰を以て収束することができました。

本来の利用者支援の基礎となる個別支援計画の作成・実践（アセスメントからモニタリングまで）をこの大洲学園で確立させなければならない。今後においてサービス管理責任者をはじめ、利用者・保護者・看護師・生活支援員が一体となり、連携して実践していきたいと考える。

障がい者支援施設大洲市立大洲学園第1部・第2部

令和4年3月31日現在

1. 利用者状況

(1) 年齢別・性別の状況

第1部：定員40人（平均年齢：53.5歳、最低年齢：39歳、最高年齢：72歳、65歳以上：5人）

	20歳以上～ 30歳未満	30歳以上～ 40歳未満	40歳以上～ 50歳未満	50歳以上～ 60歳未満	60歳以上～ 70歳未満	70歳以上	計
男	0	2	4	13	4	1	24
女	0	0	4	8	0	0	12
計	0	2	8	21	4	1	36

第2部：定員30人（平均年齢：35.2歳、最低年齢：20歳、最高年齢：50歳、65歳以上：0人）

	20歳以上～ 30歳未満	30歳以上～ 40歳未満	40歳以上～ 50歳未満	50歳以上～ 60歳未満	60歳以上～ 70歳未満	70歳以上	計
男	4	4	8	0	—	—	16
女	4	3	2	0	—	—	9
計	8	7	10	0	—	—	25

(2) 障害支援区分

区分		6	5	4	3	2	計	平均
第1部	施設入所	10	12	13	0	1	36	4.83
	生活介護	10	12	13	0	1	36	4.83
第2部	施設入所	10	5	8	2	0	25	4.92
	生活介護	10	5	8	2	0	25	4.92

(3) 入所期間の状況（施設入所） 平均33.8年（第1部：39.38年、第2部25.96年）

在籍年数		0～9	10～19	20～29	30～39	40～	50～	計
第1部	人数	1	0	4	14	13	4	36
第2部	人数	2	6	8	4	5	0	25

(4) 行政機関

第1部

大洲	八幡浜	宇和島	西予	松山	伊予	内子	伊方	愛南	松野	砥部	西条	計
19	5	0	2	1	0	4	5	0	0	0	0	36

第2部

大洲	八幡浜	宇和島	西予	松山	伊予	内子	伊方	愛南	松野	砥部	西条	計
8	1	1	5	1	2	1	0	3	1	1	1	25

2. 利用実績（支援区分別利用状況）

第1部

施設入所支援 ※入所者0人、退所者2人（8/2他施設1、11/8病院1） 以上														
月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	開所 日数 365日	合計 延数
	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日		
2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	365
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	420	434	420	434	405	390	403	390	403	403	364	403	4869	4869
5	360	372	360	372	372	360	372	360	372	372	336	372	4380	4380
6	330	341	330	341	341	321	310	300	310	310	253	282	3769	3769
合計	1140	1178	1140	1178	1149	1101	1116	1080	1116	1116	981	1088	13383	13383
実数	38	38	38	38	37	37	36	36	36	36	35	35		

生活介護														
月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	開所 日数 365日	合計 延数
	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日		
2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	365
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	420	434	420	434	405	390	403	390	403	403	364	403	4869	4869
5	360	372	360	372	372	360	372	360	372	372	336	372	4380	4380
6	330	341	330	341	341	321	310	300	310	310	253	282	3769	3769
合計	1140	1178	1140	1178	1149	1101	1116	1080	1116	1116	981	1088	13383	13383
実数	38	38	38	38	37	37	36	36	36	36	35	35		

第2部

施設入所支援 ※入所者0人、退所者2人（7/1他施設1、3/18死亡1） 以上														
月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	開所 日数 365日	合計 延数
	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日		
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	90	93	90	93	93	90	93	90	93	93	57	62	1037	1037
4	240	248	240	236	236	240	248	240	248	248	224	248	2896	2896
5	150	155	150	155	155	150	155	150	155	155	140	155	1825	1825
6	330	341	330	311	310	300	310	300	310	310	280	310	3742	3742
合計	810	837	810	795	794	780	806	780	806	806	701	775	9500	9500
実数	27	27	27	26	26	26	26	26	26	26	25	25		

生活介護													
月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	開所 日数 365日 合計 延数
	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	90	93	90	93	93	90	93	90	93	93	57	62	1037
4	240	248	240	236	236	240	248	240	248	248	224	248	2896
5	150	155	150	155	155	150	155	150	155	155	140	155	1825
6	330	341	330	311	310	300	310	300	310	310	280	310	3742
合計	810	837	810	795	794	780	806	780	806	806	701	775	9500
実数	27	27	27	26	26	26	26	26	26	26	25	25	

3. 行事

月	施設行事	福祉関係機関行事	地域行事
4	お花見 17 育成会総会 (委任状回収により議案可決) 30 誕生会		
5	21 家族交流会、園内清掃 25 誕生会	【愛媛県】 23 障がい者スポーツ大会中止につき (陸上,卓球,フライングディスク) 『えひめパラスポ記録会』開催 ⇒不参加	ゴミゼロ運動 (中止)
6	6 親子遠足 (中止) 29 誕生会	【愛媛県】 13『えひめパラスポ記録会』開催 (ボウリング) ⇒不参加	
7	17 夜市盆踊り大会 (※9月に延期、「オータムフェス 2021(仮)」を企画するも中止) 29 誕生会		大洲市一斉清掃 (中止) 水天宮花火大会 (中止)
8	28 利用者会議 〃 育成会第2回役員会 30 誕生会	大洲育成園桃太郎工房夏まつり(中止)	川まつり花火大会 (中止)
9	25 利用者会議 28 誕生会		
10	26、27 衆議院議員選挙期日前投票 26 誕生会 30 利用者会議 育成会第3回役員会	【大洲市】※大洲学園グラウンドで実施 22 障がい者スポーツの集い (参加：利用者50、職員多数) 【南予福祉施設会】 16 福祉まつり (中止)	
11	25 誕生会 27 利用者会議	9～10 ゆうあいスポーツ四国愛媛大会(中止) 15 福祉と健康づくり市民のつどい (※式典のみ開催、バザー等出店は無)	3～7 大洲まつり (中止) 紅葉まつり
12	16 クリスマス会 18 育成会第4回役員会 21 誕生会 25 利用者会議	大洲喜多法人会ケーキ贈呈 (※ケーキ贈呈式は中止でケーキのみ頂く)	
1	1 元旦・初詣 (中止) 25 誕生会 29 利用者会議		生産品販売 (十日えびす) ⇒不参加
2			
3	22 誕生会(2月、3月) 26 育成会第5回役員会		

生活介護

第1部（定員74人）

第2部（定員74人）

【実施状況】

日中活動班として、従前とおり4班を構成して利用者のニーズに合った活動プログラムを組み、機能訓練・創作活動・軽作業を中心に実施した。

①機能訓練

心身の健康維持を図る為、個別運動機能訓練計画書を作成し計画に沿って機能訓練を支援し、楽しく参加しやすい環境を整えた。

②創作活動

クラブ活動でカラオケやeスポーツ等利用者の興味や能力に応じた活動を計画し、実施した。又絵画作成等、利用者一人ひとりが出来る事を支援した。

※『eスポーツ』とは!?

愛媛県は、年齢・性別・障がいの垣根なく実施でき、障がい者の社会参加ツールのほかりハビリなどにも効果のあるeスポーツを推進。大洲市教育委員会より推薦を受けて、大洲学園がモデル施設となった。地域への普及促進を図る拠点として機能するために交流の場を創出する役割を担う。

③軽作業

クラッカー袋詰め作業を中心に作業を実施する。収益は、必要経費等を差し引き工賃として利用者へ支給する。

I 生産活動班

(令和4年3月31日現在)

<手房がいな班>

【利用者数】

男性	女性	合計	備考
12人	3人	15人	【内訳】 1班 男性4人、女性2人、計6人 2班 男性8人、女性1人、計9人 男性1人、退所。

<園芸班>

【利用者数】

男性	女性	合計	備考
10人	3人	13人	

【支援員】

男性	5人
女性	3人
合計	8人

男性1名、退職。

II 機能訓練班

(令和4年3月31日現在)

<手工芸班>

【利用者数】

男 性	女 性	合 計	備 考
1 人	7 人	8 人	女性1人、退所。

<てくてく班>

【利用者数】

男 性	女 性	合 計	備 考
9 人	3 人	12 人	男性1人、退所。

<ひまわり班>

【利用者数】

男 性	女 性	合 計	備 考
8 人	5 人	13 人	男性1人、退所。

【支援員】

男性	7 人
女性	5 人
合計	12 人

男性2名、退職。

女性1名(パート職員)、産休から育休取得。

【総括】

歯磨きや整容などの日常生活支援については、問題なく実施ができています。事業実施できなかったことは、入浴や社会体験を含む園外活動(旅行など)。入浴は、隔日実施を行うという計画ではあったが、職員数の問題等により月水金の週3日と従前のサービス提供に留まっていること。新型コロナウイルス感染症の猛威により、サービス提供の質感低下に影響があったと思われる。と同時にこれら来年度への課題となる。

日中活動編成に係る活動班実施については、軽作業の機会提供を主とする手房がない班活動については、ある程度できていたように思う。業者による材料配荷に対しては、苦情が生じないように達成できている。園芸班については、グラウンド除草が主であった。次に機能訓練班の手工芸班・てくてく班・ひまわり班については、製作活動をはじめとするそれぞれの活動が全くできなかった。唯一、体力の維持や増進に係る歩行訓練については、1年間通して継続的にできた。

地域行事への参加ができず、また施設内外行事や育成会(保護者の会)行事の中止が連続して、利用者への心理的ストレスの解消ができなかった。

令和4年度に向けては、生活居住空間と日課作業空間との差別化を図り、利用者への心理的ストレスを軽減させるように日課を実施したいと考える。各行事の企画立案から参加までは、発想を柔軟化させて実施ができる方向で工夫し、考えたいと思う。

(1) 給食状況(食数)

	検食時間	検食者	喫食時間	1部	2部	計
朝	7:10	夜勤	8:00	13,374	9,492	22,866
昼	11:20	施設職員	12:00	13,309	9,432	22,741
夕	16:30	夜勤	17:15	13,345	9,474	22,819
計		※検食簿、有。		40,028	28,398	68,426

(2) 調理従事者

大洲学園	管理栄養士
	2人

※令和3年度より、エームサービス株式会社に委託。

エームサービス	栄養士	調理師	調理員	計
株式会社	2人(うちパート1人)	3人	2人(パート)	7人

(3) 給与栄養目標量及び給与量

栄養素	基準値	給与量	栄養素	基準値	給与量
エネルギー	2,060kcal	2,069kcal	ビタミン B2	1.20mg	1.33mg
たんぱく質	67.0g	76.4g	ビタミン C	85mg	119mg
脂質	57.0g	60.4g	食物繊維	19.5g	17.6g
カルシウム	680mg	700mg	食塩総量	8.5g	8.7g
鉄	9.0mg	9.9mg	脂質エネルギー比率%	25%	26%
ビタミン A	796 μg	842 μg	たんぱく質エネルギー比率%	13%	15%
ビタミン B1	1.10mg	1.29mg			

(4) 食品構成及び給与量

食品群		構成値(g)	給与量(g)	食品群		構成値(g)	給与量(g)
魚介類	生	60g	47.4g	いも類	いも類	60g	36.7g
	干物・乾物・塩蔵	1g	9.4g		いも加工品	5g	3.4g
	練製品	5g	10.8g	果実類	果実類	100g	53.6g
肉類	肉類	50g	68.9g		加工品	20g	1.5g
	加工品	5g	12.0g	穀類	米	230g	238.0g
乳・乳製品	牛乳	200g	181.8g		パン	30g	15.1g
	乳製品	10g	47.3g		めん類	20g	23.1g
卵類		40g	31.6g	その他の穀類	10g	1.3g	
野菜類	緑黄色野菜	150g	151.8g	豆類	大豆・その他の豆	5g	1.3g
	その他の野菜	200g	189.0g		大豆製品	60g	38.0g
	野菜漬物	10g	1.1g	油脂類	油脂類	18g	4.8g
きのこ類		10g	17.2g	調味料	調味料	47g	168.7g
藻類		7g	1.5g	砂糖及び甘味料		10g	10.2g
種実類		3g	1.1g	その他の食品		10g	119.9g
				菓子類		10g	6.8g

(5) 食事形態(重複あり)

一般食	人数	特別食	人数
普通食(大)	15人	減塩食	20人
普通食(普通)	33人	マンナン食	15人
普通食(小)	14人	一口大食	18人
		刻み食	4人
		ミキサートロミ食	1人

(6) 行事食

実施月日	行事	内容	実施月日	行事	内容
5月14日	たけのこフェア	たけのこメニュー	9月21日	中秋の名月	芋炊き
5月28日	バイキング	ミックスフライ&焼肉	10月14,26,28日	大洲学園カフェ	ケーキ&コーヒー
6月1日	鮎の解禁日	鮎の甘露煮	10月19日	マロンフェス	マロンメニュー
6月16日	炭酸水&入浴剤作り	しそジュース	11月3日	大洲祭り	弁当
6月22日	トウモロコシフェア	ポップコーン	11月5日	BBQ	BBQ
6月24日	バイキング	ハンバーガー	11月8~12日	デリバリーウィーク	デリバリー
7月7日	七夕	七夕そうめん	11月16日	新そばまつり	そば作り
7月13,20日	かき氷作り	かき氷	12月16日	クリスマス会	クリスマスメニュー
7月28日	土用丑の日	うなぎのかば焼き	12月28日	忘年会	忘年会メニュー
8月3日	夏をのりきろう会	すいか割り	1月1~3日	お正月	おせち料理
8月16日	麺作り体験	うどん作り	2月3日	節分	節分メニュー
8月17日	バイキング	うどん&冷やし中華	2月7~10日	デリバリーウィーク	デリバリー
9月1日	防災の日	ベンチかまど作り	3月3日	ひなまつり	ひなまつりメニュー

(7) 食中毒防止対策

- ・調理従事前の手洗いの徹底
- ・喫食2時間前調理の実施
- ・月1度の検便の実施(赤痢、サルモネラ、O-157、ノロウイルス)
- ・調理後の食品は適切な温度管理のもと保管
- ・調理場の定期的な清掃と業者による害虫駆除
- ・原材料の適切な下処理・洗浄(場合により消毒)
- ・加熱調理食品の十分な加熱(中心温度85℃~90℃で1分半以上の加熱)
- ・調理従事者の毎日の健康チェック

(8) 栄養ケア・マネジメントの実施

全利用者対象に個別支援計画の一環として栄養ケア・マネジメントを実施しました。令和3年11月よりケア計画作成のため、利用者・サービス管理責任者・看護師・管理栄養士・生活支援員で定期的にモニタリングを行い利用者及び保護者の意向を伺いました。また、利用者の身体・食事状況に問題が生じた際にはケア計画を見直し、作成し直しました。

(9) ヒヤリハット・アクシデント報告

ヒヤリハット・アクシデント報告を実施し、再発防止に努めました。

保健医療サービス

看護師 後藤望美

利用者の健康状態を、日中及び夜間の生活におけるあらゆる機会を通して把握に努めました。また、日々の健康状態把握に加え、内科検診、血液・尿検査、がん検診等を実施することで、病気の早期発見に努めました。異常等の問題が発生した場合は、早急に医療機関へ連絡をとり、通院・入院治療を行いました。施設内で処置が可能なものに関しては、傷病の治療・予防等の支援を行いました。

利用者の薬について、事件・事故がないよう施錠できる薬品庫に医務室にて管理し、正確に服薬管理ができるよう努めました。

年2回感染症防止対策委員会を実施して対策や予防、対応について、検討・協議をしました。

- 内科検診 嘱託医：神南診療所 清水医師
 - ・第1回（6月22日）65名実施
 - ・第2回（12月23日）62名実施
- 精神科医相談 1回/月（毎週木曜日実施）平成病院 清水医師
毎月各フロアより希望者を募り、学園内医務室にて実施
- 血液検査 愛媛県総合保健協会
 - ・第1回（4月16日）65名
 - ・第2回（11月12日）62名
- 尿検査 愛媛県総合保健協会
 - ・5月11日、12日（予備日6月1日）60名実施

結果については内科検診時に嘱託医に相談し、必要に応じて二次検査等を進めました。二次検査の結果で高血圧・脂質異常などの治療開始となった方や、薬が変更となった方がいました。

- 歯科検診＜愛媛県歯科巡回診療＞（8月6日）62名実施
検診結果を踏まえ、虫歯のあった方については順次歯科通院治療を行いました。
- 感染症発症について
 - ・インフルエンザ感染者 なし
 - ・新型コロナウイルス感染者 47名
- 予防接種
 - ・インフルエンザ予防接種（11月25日）62名実施
 - ・新型コロナワクチン予防接種（1回目、2回目を実施）
※3回目については陰性者のみ実施、陽性者については令和4年度実施予定
 - ・肺炎球菌感染症予防接種・風疹ワクチン予防接種（該当者のみ実施）
- 通院状況
定期的に通院を実施し、投薬、処置等を受けるとともに、生活において個別に食事療法、適度な運動、日光浴（外気浴）等、疾病の予防に取り組みました。
- 入院状況
延べ人数 4名（実人員 4名）～肺炎2名、自閉症、骨折にて入院

各種委員会

(1) サービス向上委員会

利用者の快適な生活に伴う適切なサービス提供のため、利用者会議やフロア会議、職員会等から提案された「支援・設備・環境」等の検討及び改善を図った。

実施日	内 容
R3.4.22	* 誕生会について ○誕生会内容 * 余暇活動について ○入浴日、クラブ活動
R3.8.14	* 本人渡し小遣いについて ○出金、○入金 * 園外活動について ○代行、○利用者帯同 * 業者散髪について
R3.10.12	* 令和3年度のクリスマス会の実施について (11/9, 12/14) * 日程について * 出し物について 他
R4.1.29	* 今年度の反省と来年度の予定 ○余暇活動 (カラオケ、eスポーツ、軽スポーツ等の実施) ○ミュージック・ケア ○誕生会 ○クリスマス演芸会

【総括】

昨年までの行事などを踏襲することを原則として利用者へのサービス提供に係る協議をする。利用者預り金等の預金残高の不透明さにより引継ぎの遅滞や環境の不整備により、利用者へのサービス提供が低下した。中途より大洲育成園預り金規程が稼働し始めたので、日用品の買い出しや外食等個別園外活動が実施できた。恒例のクリスマス会は、保護者は不参加ではあったが、開催して楽しむことができた。

(2) 地域交流委員会

実施日	内 容
R3.6.23	* 地域交流会(夜市盆踊り大会)中止について ⇒夜市盆踊り大会の代替案を検討
R3.8.2	* 夜市盆踊り大会の代替案「オータムフェス 2021(案)」の検討、第1回
R3.8.27	* 夜市盆踊り大会の代替案「オータムフェス 2021(案)」の検討、第2回
R3.9.24	* 夜市盆踊り大会の代替案「オータムフェス 2021(案)」の検討、第3回

【総括】

新型コロナウイルス感染症の第5波の影響もあり、委員会が検討する「夜市盆踊り大会」とその代替案についても中止となる。2年連続中止ということもあり、当事業所の地域交流の場・機会として最も大きな行事を開催できないことが残念。

市内等地域行事(例:市内一斉清掃日等)も中止となり、協議する機会が少なかったことも反省材料となった。

(3)安全衛生委員会

防火管理者 祖母谷洋子

訓練及び法定点検等の実施状況

実施日	実施内容	参加者
4月22日(木)	大洲消防署へ消防計画書提出届出(人員配置替えによる変更)	
5月27日(木)	昼間火災訓練消火訓練	81人
5月29日(土)	火災連絡訓練	32人
5月31日(月)	施設内安全点検 安全対策チェック表を配布し、各火元責任者がリストに基づき点検を実施	8人
6月23日(水)	土砂災害避難訓練	77人
7月28日(水)	昼間火災訓練消火訓練	79人
9月1日(水)	防災の日(ベンチかまどづくり)	30人
10月15日(金)	愛媛県原子力防災訓練	34人
10月21日(木)	昼間火災避難訓練・火災時発電機の操作説明	78人
11月18日(木)	昼間火災避難訓練	79人
11月27日(土) 11月28日(日)	防災士養成講座 講習と筆記試験を受ける	80人
12月17日(金)	地震防災訓練(シェイクアウトえひめ 県民総ぐるみ地震防災訓練実施)	80人
1月16日(日)	普通救命講習 防災士合格者1名受ける	1人
1月27日(木)	昼間火災訓練、通報訓練、消火訓練(消防署立会いのもと実施)	75人

【総括】

今年度は大洲育成園の指定管理のもと事業計画に基づき、避難訓練等を実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響もあり防災教育等の広域ルートの確認やAED、心肺蘇生法、防犯訓練、夜間避難訓練の実施ができなかった。

火災避難訓練に関しては、回数を重ねて少人数の職員で協力しながら、利用者を指定の避難場所まで、安全に避難をすることに努めた。また、昨年度の大洲育成園実績に継続して防災士養成に努めた。1名の職員が資格を取得するという成果をあげた。

令和4年2月に施設内感染により利用者・職員がコロナ感染したことに伴い、次年度は感染症対策強化の研修等を取り入れながら、普段からの関心や予防に努められるよう取り組む予定としている。

(4) 研修委員会

福祉施設職員の人材育成を図る為に、支援技術・介護技術の研修等を企画、実践をした。また、人権擁護、虐待防止等に関わる研修から啓発活動についても実施した。

実施日	内 容
R3.5.17	* 研修委員会の年間活動について ○介護技術研修、○虐待防止研修 計画について協議
R3.6.22	* 施設内研修の決定事項【※コロナ禍であるので off-OJT の実施】 8/3 介護技術研修について 大洲育成園と合同。 12 月虐待防止研修について // なお、虐待防止は学園が主で開催準備。
R3.11.14	* 虐待防止職員研修会 「テーマ「知的障がい者の人権・虐待について」 日時 1 回目 12 月 21 日 (火) 14:00~15:30 2 回目 1 月 13 日 (木) 14:00~15:30
R3.12.5	* 虐待防止職員研修会の最終打合せ

【総括】

福祉サービスの質の向上を目的とした研修計画から実施まで、委員会活動を行った。介護技術の①車いす歩行器の使い方、②移乗、③紙おむつの種類・使い方について研修できた。虐待防止については、大洲育成園谷山主任指導員、サービス管理責任者白石亮の 2 名を講師として実施。

次年度より研修開催については、各種委員会で企画・立案して実施する。

(5) 広報委員会

実施日	内 容
R3.4.7	ふれあいだより 102 号 作成予定、発送について協議
R3.4.21	ふれあいだより 102 号 記事内容等について協議 大洲学園ホームページビルドアップ等について協議
R3.4.23	大洲学園ホームページビルドアップ等について協議
R3.7.8	ふれあいだより 103 号 作成予定、発送について協議
R3.7.21	ふれあいだより 103 号 記事内容等について協議 60 周年記念誌案の発刊についての協議
R4.1.13	60 周年記念誌 (or DVD 作成) 案の作成についての協議
R4.2.7	60 周年記念誌 (or DVD 作成) 案の作成についての協議 業者：佐川印刷株式会社

【総括】

広報誌「ふれあいだより」を継続して発行することとする。また、情報発信のアイテムとして大洲育成園ホームページを活用。職員に対して担当を決定し、その都度記事を依頼し、情報公開に努めた。60 周年記念誌の発行についても協議。次年度完成に向けて企画。

(6)その他の委員会

①支援マニュアル検討委員会

大洲学園指定管理仕様書に記載のあるマニュアル作成・製本等に係る委員会については、開催なしに終わる。従前から使用している「支援マニュアル」があると思われるが、その所在が不明。

今後、支援マニュアル作成に係る根拠(福祉サービスの質の確保等)を掲げて、事業所全体で推進していきたい。

②虐待防止委員会

今年度においては、大洲市立大洲学園「虐待防止・虐待対応時マニュアル(令和2年12月施行)」に基づき、下記のとおり実施した。宮脇次長兼主任指導員起案により、虐待防止に係る自己抑制のアイテムとしてチェックリストを活用して自己評価をするも、分析・評価に至っていない。

研修計画・実施については、研修委員会による企画立案、実施となる。

次年度については、法人による虐待防止・身体拘束適正化指針をまとめてこれに基づく「虐待防止・身体拘束適正化委員会」を発足させて、大洲育成園と合同にて推進、実践していく。

令和3年11月2日	令和2年9月、利用者に対する不適切な支援(虐待案件)これに係る愛媛県南予地方局へ提出済の改善計画書及び令和2年12月作成「虐待防止・虐待対応時マニュアル」に基づき下記内容を実施。なお、本委員会は、大洲市立大洲学園虐待防止委員会設置要項中、第4条(委員会の開催)第1項に基づき、開催したもの。 [実施内容] ①虐待防止に係る自己チェックリストの配布・回収、統計(11月、3月)、年2回 実施責任者:次長兼主任指導員 宮脇忠 ②虐待防止研修会の実施(12月以降、職員全員参加) ※7~8名程度にして数回実施します。 ※大洲市立大洲学園会議室で実施するものとし、講師は、大洲育成園所属の谷山洋二主任指導員(※愛媛県講師登録、有)
令和3年 11月15~26日	虐待防止チェックリスト第1回目実施について チェックリスト第1回目の実施による自己評価。
令和4年 3月18~25日	虐待防止チェックリスト第2回目実施について チェックリスト第2回目の実施による自己評価。

〔研修会〕 ※大洲育成園と合同による実施

研修名	『虐待防止研修会(①障害者虐待、②身体拘束・行動制限)』
-----	------------------------------

③感染症防止対策委員会

令和3年8月20日	新型コロナウイルス感染症の対策について
令和3年9月30日	新型コロナウイルス感染症の対策に係る「感染警戒期」の対応について

④リスクマネジメント委員会

1.ヒヤリハット報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落												1	1
暴力・暴言													0
怪我													0
食事トラブル							2	1					3
服薬トラブル			2	2	1	2	1	2	1	1			12
無断外出						1							1
その他				1		1							2
合計	—	—	2	3	1	4	3	3	1	1	0	1	19

2.事故報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落						1					1		2
暴力・暴言				1		1	1	1					4
けが・負傷			1	①	1	1②					2①		9
食事トラブル													0
服薬トラブル				1				1					2
無断外出								1					1
その他				2		1		2		1	1		7
合計	—	—	1	5	1	6	1	5	0	1	5	0	25

※「○印のアラビア数字」の表記は、県・市町に報告した骨折事案。

ヒヤリハット報告書や事故報告の報告環境（様式不備、報告方法が無 等）が、6月まで整備できなかった。その後は、「気付き」を報告することができた。服薬トラブルのヒヤリハット報告が多い。事故へ転換しないよう職員に周知している。

愛媛県や出身市町への報告が伴う骨折事故は、4件という実績。「報告、対応（医療機関への通院等）、事務手続」が現場で即時対応できていない。現場責任者の事務能力が低いことが露呈した。

苦情解決への取組み

NO	受付日	受付者	種別	苦情内容	対応
—	—	—	—	—	—

※令和3年度については、件数0でした。

【資料】※昨年までの開催記録等、無。

◎サービス相談日の開催

開催起案日	開催日	用務	内容
令和3年6月3日	令和3年6月24日	サービス相談日 出席：西岡正人氏 伊賀 弘氏 神元寿子氏	令和2年度第三者委員活動の総括、大洲学園施設見学の
令和3年8月18日	令和3年9月24日	サービス相談日 出席：西岡正人氏	利用者10名と面談。要望数件あるものの苦情は無。
令和3年11月11日	令和3年12月2日	サービス相談日 出席：伊賀 弘氏	利用者11名と面談。要望数件あるものの苦情は無。
令和4年2月2日	—	サービス相談日	施設内新型コロナウイルス感染症蔓延により中止。

利用者会議の開催

単位：人

実施日 部	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	—	—	—	24日	28日	25日	30日	27日	25日	29日	—	26日
第1部	—	—	—	38	36	36	35	36	33	33	—	34
第2部	—	—	—	15	17	26	26	26	26	26	—	25

「生活」、「食事」、「行事」などについて、利用者の意見聴取をする機会を提供して、意見を出してもらおう。利用者の要望に応じて、福祉サービスの質の向上に繋げていく。開催することに利用者も慣れてきた様子が見られる。本来であれば、一つ一つ要望に応じて実績を作ることができればよいが、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、なかなか容易ではない。

食事や生活環境整備等改善に重点を置き、利用者が快適で安心して暮らせる施設生活を目指したいと考える。

職員会

開催実績は、無。なお、終礼についても、日課や人員配置等々の諸問題より未開催。大洲市との大洲市立大洲学園指定管理者制度に係る連絡会において、担当市社会福祉課より「生活支援員との情報共有の場は、必須」との指摘事項有。令和3年11月より日課変更して「職員会（終礼の代替会議）：pm13:15～、10分程度」を開催。以降は、開催定着しており、有効活用できている。

次年度においては、1～2時間程度要した標記に記載した定期職員会を設定できるように設定したい。

実習生・ボランティア受け入れ

年月日、期間	学校・団体名	内 容	参加者人数
令和3年 7月23日～8月3日、12日間	東雲短期大学	保育実習Ⅲ	2人(学生)
10月12日～22日、11日間	東雲短期大学	保育実習Ⅰ	2人(学生)
11月9日～19日、11日間	聖カタリナ大学	保育実習Ⅰ	1人(学生)
11月22日～12月3日、12日間	東雲短期大学	保育実習Ⅰ	2人(学生)
令和4年 2月7日～9日、3日間	東雲短期大学	保育実習Ⅰ	2人(学生)

クラブ活動の状況

・クラブ活動の実施方針
週1回土曜日午後13:30から1～2時間程度、利用者の要望に応じたクラブ活動計画作成し、これに基づき実施する。利用者の参加する意思によって選択できるもの。

クラブ名	1回当たり平均参加人数			指導担当者	実施状況
	男性	女性	計		
クラブ活動 (カラオケ、eスポーツほか)	26	17	43	当日勤務職員により 実施	1回/週程度

※令和3年度実績：実施回数18回、延べ利用人員777人

定期的な行事開催状況

名 称	実施時期	内 容
誕生会	毎月1回	誕生者には、ケーキを選択して購入し飲食。当月誕生者にカードを贈呈。昼食時に開催して、みんなで祝福する。
利用者会議	毎月第4土曜	各部内で、生活の改善や要望を話し合う。
業者散髪	毎月第4月曜	「カットスタジオひらた」に来園いただき、希望者の散髪を実施する。※有料

福祉サービス第三者評価の受審

※今回、初回

日 時	内 容	備 考
令和3年6月7日	申込作成、送付	愛媛県社会福祉協議会調査支援課
令和3年7月20日	受審に係る説明、質疑応答	愛媛県社会福祉協議会山田氏、来園 大洲育成園と合同。於大洲育成園相談室
令和3年7月27日	福祉サービス第三者評価実施開始日	
令和3年10月19日 ～11月4日	福祉サービス第三者評価に係る自己評価の実施(第1部、第2部)	全職員が参加対象 ※パート職員等を除く
令和3年12月6～7日	実地調査	於大洲市立大洲学園
令和4年2月3日	第三者評価の報告会 及び 福祉サービス第三者評価実施期間終了	於大洲市立大洲学園、ZOOM ミーティング
令和4年2月3日	福祉サービス第三者評価受審証、交付	愛媛県

【総括】この事業実施に係る自己評価について全職員による協議ができたことは、大きな成果。次回3年後の受審に向けて課題有。次年度より少しずつ取組みたい。 ※結果は、愛媛県HPで公開中。